

(リスクアセスメント) 小型移動式クレーン 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械		主な使用工具、器具			安全設備、保護具				使用材料			
作成日	令和8年3月12日	小型移動式クレーン					ヘルメット、墜落制止用器具 ゴム手袋、軍手、安全靴							
改訂日														
作成者	野尻													
必要資格等	運転免許（準中型～大型）、小型移動式クレーン						作業人員	名			その他			
備考														

作 業 工 程	No	単位作業 と その主な手順	危険有害要因（予測される災害・事故） （品質、トラブルも含む）	危険要因			危 険 有 害 要 因 低 減 対 策	誰 が	対策後			参 考 図 （ 写 真 等 ）
				可 能 性	重 大 性	評 価		点 検 ・ 確 認	可 能 性	重 大 性	評 価	
準備工		作業前ミーティング										
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2	
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う	職長	1	1	1	
	3	服装、保安用具の点検をする	保護具未着用によるケガ	2	1	2	全員で点検を実施する	作業員	1	1	1	
	4	機械装置の動作確認をする	機械装置が稼働しない	2	1	2	作業前点検を行い、機械装置の点検をする	作業員	1	1	1	
	5	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	作業員	1	1	1	
	6	作業手順の確認をする	各自の作業が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	作業員	1	2	2	
		点検										
		（ワイヤーロープ）										
	1	ひとよりの間で、素数の数の10%以上の素線が切断していないか	性能不足のワイヤーを使用し作業中に破断等により被災する	3	3	9	作業前に必ず点検を行う	作業員	1	3	3	
	2	直径の減少が公称径の7%をこえていないか										
	3	キンクしていないか										
	4	著しい形崩れ又は腐食がないか										
		（スリングベルト）										
	5	ストランドが切断していないか										
	6	著しい損傷又は腐食がないか										
	7	表面に毛羽立ちがないか										
	8	ベルトに傷や剥離がないか										
	9	縫製部、アイ部、外観に異常がないか										
	8	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スベアタイヤの落下	2	2	4	運行前に必ず点検する、スベアタイヤの固定確認	作業員	1	2	2	
移動		現場への移動										
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2	
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通行区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1	
	3	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	作業員	1	2	2	
	4	規制内での移動	車両同士の接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	作業員	1	2	2	
			車両と作業員の接触	2	2	4	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う	作業員	1	2	2	
本作業		小型移動式クレーンの操作										
	1	保護具の着用	保護具未装着によるけが	2	2	4	適切な保護具の着用確認をする	作業員	1	2	2	
	2	サイドブレーキを掛け、車両に輪止めをする	車両が逸脱して接触事故を起こす	2	3	6	車両の自走防止と2人以上で作業をする	作業員	1	2	2	
	3	設置場所の上空、周囲に支障物が無いか確認する	架空線に気づかず、接触してしまう	2	3	6	監視員を必ず配置する	作業員	1	2	2	
	4	アウトリガーの張り出し	作業員がアウトリガーで 挟まれる	3	3	9	アウトリガー張出しは、周囲に障害物、人が無いかを確認する	作業員	2	1	2	
	5		定格荷重以上を吊り上げ、車両が横転する	3	3	9	吊る前に、荷重を確認する	作業員	1	2	2	
	8	吊り荷に玉掛けする	吊り位置が不均等となり、吊荷を落下させる	3	3	9	ワイヤーの様子も確認しながら 原則、ワイヤーは2点吊とする	作業員	1	2	2	
	9	吊り荷をクレーンで移動させる	吊り位置が不均等となり、吊荷を落下させる	2	2	4	地切りし、吊荷が安定していることを確認する	作業員	1	2	2	
	10	吊荷を下ろす	荷が揺れ車両や作業員と接触する	2	3	6	風が強い場合は介錯ロープを使用する	作業員	2	1	2	
	11	アウトリガーの格納	作業員がアウトリガーで 挟まれる	3	3	9	アウトリガー格納時は、周囲に障害物、人が無いかを確認する	作業員	2	1	2	